

# 蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成24年4月

和歌山県立和歌山西高等学校

和歌山県立和歌山北高等学校西校舎

Tel.453-1281



## ☆別れ、そして出会い今年も

4月5日(木)、離任式を行いました。転退職されるみなさんから一人ひとり感動的なお話をいただきました。生徒たちも大変名残惜しい様子でした。また式終了後、別会場にて、生徒会が和太鼓を演奏し、感謝の気持ちを伝えました。

一方、4月10日(火)には新任式を行いました。生徒を代表して生徒会長の山中祐二君(3年)が歓迎の挨拶で迎えました。新たな環境のもとで少し緊張しているようでしたが、これからの学校づくりに力を合わせていきたいと思っております。

## ☆和太鼓&挨拶、堂々と



4月10日(火)午後、本校体育館にて、県立さくら支援学校開校式が行われました。同敷地内にあるということで、本校生徒会も代表挨拶と和太鼓演奏で華を添えました。和太鼓については、これまで数回、支援学校生との合同練習、本校での自主練習を重ね、緊張はしながらも、当日は最高の演奏を見せてくれました。全国2例目という併設型の学校となりますが、学校行事等を通して、共に学び成長し合えればと願っています。

開校にあたり、和歌山西高校・和歌山北高校西校舎生を代表して、ひとことご挨拶申し上げます。

この地は海拔70メートルに位置し、私達はおよそ270段にもなる階段を毎日登って登校しています。その途中、この季節には多くの花が咲き、とりわけ満開の桜並木を通ると、心新たに「また1年がんばるぞ!」という気持ちで一杯になります。機会がありましたら、みなさんも先生方と共に、ぜひご覧ください。

さて私達は、東日本大震災、紀伊半島を襲った台風12号による甚大な被害を受け、昨年度さまざまな形で被災地支援活動に取り組みました。街頭募金活動や現地での復旧作業、被災地小学生との交流等を通して、改めて「絆」や「つながり」「支え合うこと」の大切さを学びました。同時に「人間誰しも本来、誰かの力になれたり、励ましたりできる存在なんだ」とも感じました。

三つの学校が同じ建物の中で生活することに不安や戸惑い、心配もあると思います。でも生徒や先生方、保護者をはじめ、この地に関わるすべてのみなさんがお互いを尊重し、思いをはせばきっと乗り越えられれば、昨年度の経験を通して私達は確信しています。

これまで支援学校のみなさんと交流する機会はほとんどありませんでしたが、この度、生徒会代表が和太鼓を共に演奏させていただきます。これを交流の第一歩として、被災地支援等の特別活動や学校行事等、知恵を出し合い取り組んでいきましょう。

自然豊かなこの蔵王の地で、共に学び育ち合っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



平成24年4月10日

県立和歌山西高等学校・和歌山北高等学校西校舎

生徒会長 山中祐二

